

ハスモンヨトウ情報第1号(ダイズ)

平成21年8月4日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

1 発生状況

フェロモントラップによるハスモンヨトウの6月第3半旬から7月第5半旬までの合計誘殺数は、吉良町では、451頭で平年値583頭よりやや少なく推移しています。しかし、弥富市では、1,432頭で平年値79頭に比べ、かなり多い状況にあります。(図1)。

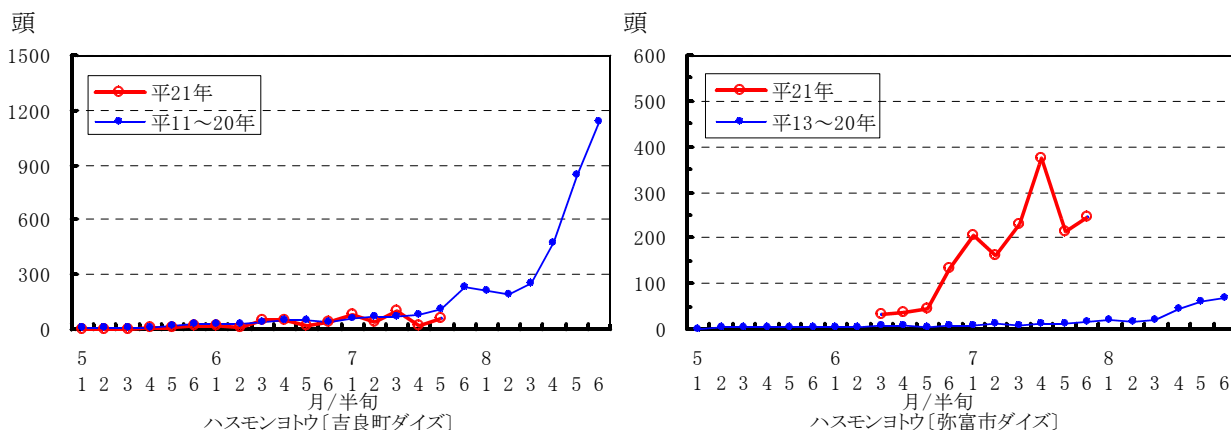


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数

2 今後の状況

例年、8月上中旬からハスモンヨトウが急増するため、ほ場での発生動向には注意が必要です。

ほ場での観察をしっかりと行い、白変葉(図2)および幼虫(図3)が見られたら表を参照して防除しましょう。



図2 ハスモンヨトウによるダイズの白変葉



図3 ハスモンヨトウの幼虫

表 ハスモンヨトウの主な防除薬剤と使用基準

作物名	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数/使用回数
ダイズ	ロムダンフロアブル	2,000倍	14日前/3回
	ラービンフロアブル	750~1,000倍	14日前/2回
	ノーモルト乳剤	2,000倍	14日前/2回
	トレボンEW	1,000倍	14日前/2回
	トルネードフロアブル	2,000倍	7日前/2回
	マトリックフロアブル	2,000~3,000倍	前日/3回